

## 「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機 関 名	東北大学	整理番号	Q02
プログラム名称	マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム		
プログラム責任者	花輪 公雄	プログラム コーディネーター	長坂 徹也

### ◇博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価（公表用）

#### [総括評価]

計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

#### [コメント]

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、俯瞰力を身に付けさせるという目標が明確に設定され、それを実現するために 3 種類のインターンシップ、2 課題のオーバービュー、英語教育等のカリキュラムが到達目標とともに整備されており、計画以上の成果が出ている。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、QE1 への企業委員の参加、企業でのインターンシップ及び企業との共同研究が行われており、学会発表数や論文数等の点でプログラム履修生が一般学生よりも高い成果を示していることから、修了後も活躍することが十分に期待される。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、プログラムコーディネーターと専任教員及び特任教員を中心とする指導体制が確立されるとともに、指導教員のプログラムに対する理解が進んでいることは大いに評価できる。

優秀な学生の獲得については、定員以上の応募者があること、また、外国語パンフレットの配布等の努力により、留学生も増加していることは評価できる。

世界に通用する確かな学位の質保証システムについては、企業委員が参加する QE1 及び QE2 において、論文の緒言の説明に多くの時間を取り、俯瞰力を厳しく問うなど、独自の工夫がなされており、高水準の学位保証システムが構築されていると判断できる。

事業の定着・発展については、総長裁量経費で支援を継続するなど、全学的な取組が行われており評価できる。